

がん研究会有明病院の研究計画
「網羅的プロテオミクス解析および血中遊離 DNA 解析による
大腸癌再発予測マーカーの開発」への研究参加に同意され、
試料・情報を提供いただいた研究対象者の方へ

2024年3月5日

上記研究計画に提供いただいた試料・情報を、新しい疾患バイオマーカーの探索を目的として計画された下記研究課題に使用させていただきます。その概要を記載いたしますので、この研究課題についてご質問・ご相談等がございます場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご自身が提供された試料・情報をこの研究課題に対して利用・提供してほしくないと思われました場合にも、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた際は、その試料・情報の利用を停止します。

研究課題名

大腸癌の早期診断・再発予測マーカーの開発

研究責任者

足立 淳：医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所
創薬標的プロテオミクスプロジェクト プロジェクトリーダー

共同研究機関の研究責任者

福長 洋介：がん研究会有明病院 大腸外科 部長

本研究の目的

大腸がんは世界的に罹患率、死亡率の高い疾患であり、今後さらに増加することが予測されています。大腸がんの治療成績を向上させるためには、その早期発見が求められています。従来の簡便な検査法では不完全であり、またより早期にかつ精確に発見できる血液バイオマーカーは現状では存在しません。

また、大腸がんで死亡する患者さんの多くはがんの再発（転移）が原因です。従って、大腸がんの死亡率を下げるためには、がんの再発を早期に予測し、治療を開始することが重要です。

多くの病気の原因は遺伝子の最終産物であるタンパク質の異常によって起こっているため、病気の原因となるタンパク質の発見が最重要課題です。このタンパク質を網羅的に解析する手法がプロテオミクスであり、特に病気の原因となるタンパク質の発見にはヒトの血液、尿、組織などの臨床材料を用いたプロテオミクス研究が不可欠です。

本研究では、最新のプロテオーム解析技術を使い、ヒトの血液などの臨床材料から大腸がんの早期診断および再発予測に有用なタンパク質を発見することを目的としています。

試料・情報の収集期間および研究期間

平成 22 年 11 月以降に採取（収集）した血液を調査対象とします。

この研究課題の研究期間は平成 25 年 3 月 4 日から 2025 年 3 月 31 日までです。

研究の方法

【研究対象者】

①上記期間内にがん研究会有明病院 消化器外科で大腸がんの手術を受けた方のうち、研究計画「網羅的プロテオミクス解析および血中遊離 DNA 解析による大腸癌再発予測マーカーの開発」への研究参加に同意いただいた方

②がん研究会 健診センターにて、健診用検査時に採取された「血液の残った検体を研究使用する」ことに同意された方（20 歳以上の男女が対象です）

【本研究課題で利用する試料・情報の項目】

血液、年齢、性別、疾患名、進行度、治療歴、検査データ等

【研究方法の概要】

がん研究会有明病院 消化器外科で採取された大腸がん患者の血液から、医薬基盤・健康・栄養研究所においてタンパク質を抽出し、質量分析計を使って大腸がんの早期診断・再発予測に役に立つタンパク質を探索します。遺伝子解析は実施しません。

試料・情報の提供について

試料は宅急便で、情報はメールでがん研究会有明病院から医薬基盤・健康・栄養研究所に送られます。試料・情報は、医薬基盤・健康・栄養研究所及び共同研究機関であるがん研究会有明病院のみの利用とします。共同研究機関外への試料・情報の提供はありません。

個人情報の取り扱い

個人情報はがん研究会有明病院で匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報は扱いません。

また、研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定できないようにします。

お問い合わせ先

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト
プロジェクトリーダー 足立 淳
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8
電話：072-641-9811 内線 3502

がん研究会有明病院大腸外科
部長 福長 洋介
〒135-8550 東京都江東区有明 3-8-31
電話：03-3520-0111